



日本ライフセービング協会 A 種認定競技会
 第 7 回神奈川県ジュニア/ユースライフセービング・プール競技会
 【 オフィシャル/スタッフ募集要項 】

- 開催日：2022 年 11 月 6 日（日）
- 会場：トッケイセキュリティ平塚総合体育館温水プール
（神奈川県平塚市 1-1・平塚総合運動総合公園内）
- 主催：特定非営利活動法人神奈川県ライフセービング協会
- 後援：平塚市・平塚市教育委員会・一般社団法人神奈川県水泳連盟・公益財団法人日本ライフセービング協会（含申請中）
- 協賛：GUARD
- 協力：平塚市水泳協会・湘南ひらつかライフセービングクラブ（含申請中）
- 助成：スポーツ振興くじ助成「t o t o」



- 大会認定：日本ライフセービング協会 A 種認定競技会（申請中）

■競技種目

[個人種目]

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 1. ジュニアチューブスイム (50m) | (小学生 1.2 年混合) |
| 2. 障害物スイム (50m) | (小学生 3.4 年女子) |
| 3. 障害物スイム (50m) | (小学生 3.4 年男子) |
| 4. 障害物スイム (50m) | (小学生 5.6 年女子) |
| 5. 障害物スイム (50m) | (小学生 5.6 年男子) |
| 6. 障害物スイム (100m) | (中学生 女子) |
| 7. 障害物スイム (100m) | (中学生 男子) |
| 8. レスキューチューブトウ (100m) | (小学生 3.4 年女子) |
| 9. レスキューチューブトウ (100m) | (小学生 3.4 年男子) |
| 10. レスキューチューブトウ (100m) | (小学生 5.6 年女子) |
| 11. レスキューチューブトウ (100m) | (小学生 5.6 年男子) |
| 12. マネキントウ・ウィズフィン (100m) | (中学生 女子) |
| 13. マネキントウ・ウィズフィン (100m) | (中学生 男子) |

[チーム種目]

- | | |
|--------------------------|---------------|
| 14. 障害物リレー (4×50m) | (小学生 3~6 年混合) |
| 15. 障害物リレー (4×50m) | (中学生 女子) |
| 16. 障害物リレー (4×50m) | (中学生 男子) |
| 17. レスキューチューブリレー (4×50m) | (小学生 3~6 年混合) |
| 18. メドレーリレー (4×50m) | (中学生 女子) |
| 19. メドレーリレー (4×50m) | (中学生 男子) |
| 20. ラインスロー (10m) | (小学生 5.6 年女子) |
| 21. ラインスロー (10m) | (小学生 5.6 年男子) |
| 22. ラインスロー (10m) | (中学生 女子) |
| 23. ラインスロー (10m) | (中学生 男子) |

- ※ 全種目において、タイム決勝とする。
- ※ チーム種目については1クラブから複数チーム出場することができる。ただし、同一種目において同じ選手が複数チームから出場することはできない。
- ※ チーム種目「4×50m障害物リレー」(小学生 3~6年混合)「4×50mレスキューチューブリレー」(小学生 3~6年混合)において、男女同一および男女別は問わない。
- ※ 100mマネキントウ・ウィズフィンの種目については、マネキンハンドラーが必要となる。エントリーした競技者(小学生を除く)の中からマネキンハンドラーを選び、競技者と同じチームキャップを着用すること。
- ※ 使用するフィン各自準備すること。なお、安全を考慮しジュニア選手についてはゴムフィンのみとする。カーボンファイバーやグラスファイバー素材などの硬いフィンについてはユース選手からの使用する。

■競技種目について

本協会では、ドライレスキューの観点から「ラインスロー」(中学生および小学生 5.6年生)を導入する。距離については、一般規則で 12.5m とあるが、10m とする。他の規則については規定通りとするので、出場を希望する競技者においては必ずクラブの競技指導員や大会規則に熟知している者に指導を受け練習すること。

■タイムテーブル

締め切り後、当協会ウェブサイト「<http://lifesaving.ne.jp/>」に掲載する。プールの選手入場については 8 時 30 分頃を予定している。

■表彰

個人およびチーム/各種目 1 位から 8 位を入賞とし、1 位から 3 位までは表彰しメダルを授与する。

■競技方法

日本ライフセービング協会の「ライフセービング競技規則 2022 年版(2022.07.01)」に則り行う。ただし、記載のない種目については別に記すこととする。その他、必要な事項については実行委員会で決定する。

■コンペティションキャップ

本競技会に使用するキャップについて、同クラブから出場する場合ジュニアとユースについては同一の色やパターンで作られているものを準備すること。(競技会参加規程参照)

日本ライフセービング協会より承認されているキャップ以外のキャップを使用する場合は、申込締切日までに実行委員会(事務局)に写真など分り易いものを届け出ること。(申請ではなく届出)

■募集概要

①審判員(C級審判員資格以上の方) 40 名程度

②スタッフ(中学生以上)

- 1) 安全課……………主にウォーミングアッププールの水面監視(5名程度)
- 2) マネキン補助員……マネキン競技・障害物競技に関すること(25名程度)
- 3) 大会運営補助員……大会事務局付きとして大会運営をサポート(3~5名程度)

※審判・スタッフとも担当係につきましては実行委員会で決めさせていただきます。

※審判員は、JLA 審判員履歴としてカウントされます。

■参加条件**①審判員**

- 1) 有効な審判員資格を取得していること
- 2) 登録管理システム「LIFESAVERS」にて必ず資格の登録および登録費の支払いが完了していること。
- 3) 本大会に選出として出場登録をしていないこと

②スタッフ

- 1) 中学生以上の方
- 2) 責任を持って役割を遂行できること
- 3) 安全課を担当する場合は、プールライフガードまたはサーフライフセーバーBASIC以上の資格を保持していること

■その他**●交通費**

1. 審判員…後日、実費交通費をご指定の口座までお振込みいたします。(上限 5,000 円)
 2. スタッフ…後日、実費交通費をご指定の口座までお振込みいたします。(上限 5,000 円)
- ※ 交通費は、お申込みサイト「交通費」欄にて「最寄り駅(バス停)」と「利用する公共交通機関名」「経路」をご記入の上、ご申請下さい。
- ※ 特別運賃、特急料金等は計算の対象外となりますのでご注意ください。
- ※ お車で来場される場合も、公共交通機関(特別運賃、特急運賃等は除く)の運賃にて計算します。
- ※ 振込先金融機関口座名義は、必ず「ご本人と同じ名義の口座」にてお願いいたします。助成金等支出に関する規定により、ご本人と口座名義が違う場合はお支払いできません。
- ※ ご不明なことがございましたら、事務局までお問合せ下さい。

●食 事

大会当日の昼食(お弁当) お茶(会場にて配布いたします) ※朝食のご用意はありません。

●ユニフォーム**1. 審判員**

公式ユニフォームを用意してください。また、笛、ペン、水着、室内シューズ(靴裏面が白)、靴下も各自準備願います。

2. スタッフ

白いポロシャツまたは襟付きの白シャツ、チノパン、室内シューズを用意してください。また、競技役員スタッフは水着、ウェットスーツ、防寒着などを用意してください。

※ 審判員・スタッフとも、ご自分が所属しているチームユニフォーム等での参加はできません。

※ 大会中の貴重品は、各個人での管理をお願いします。

※ 大会中は、両手の空くウエストポーチをご活用ください。

■お申込方法

当協会ホームページより「デジエントリー(外部サイト)」から申し込んでください。

デジエントリー <https://dgent.jp/>

- 2 次要項・役割分担表およびその他の情報はメールにてお知らせし、当協会ホームページに掲載いたします。迷惑メール対策をされている方は、デジエントリーからのメールを受信できるように設定をお願いいたします。

■オフィシャル/スタッフ会議

競技上の注意事項を説明するオフィシャル/スタッフ会議を開場前にプール入り口付近において開催する。オフィシャル/スタッフは必ずご出席すること。やむを得ず時間に間に合わない場合は、事前に事務局まで連絡すること。

【オフィシャルスタッフ会議】

○日時：2022年11月6日（日）8時00分より

○場所：プール入り口

申込締め切り日：2022年10月23日（日）23：59

【申込み・詳細】 ●神奈川県ライフセービング協会ホームページ <http://lifesaving.ne.jp/>



特定非営利活動法人神奈川県ライフセービング協会

〒251-0038 神奈川県藤沢市鵠沼松が岡 3-17-1

Phone : 0466-60-2212 FAX : 0466-60-2213

URL <http://lifesaving.ne.jp/> E-mail compe@lifesaving.ne.jp

スポーツくじ



スポーツは育てることができる。

スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

神奈川県ジュニア/ユースライフセービング・プール競技会

【参加規定】

1 参加資格

競技者の参加資格は下記を満たしている者、若しくは主催団体が特別に参加を認めた者でなければならない。

1-1 競技者は、競技会初日に各競技種目の区分またはそれと同様の年齢に達していること。

1-2 競技者は、ライフセービングを志している者とする。

1-3 競技者は、ライフセービングの競技であることを理解し、自分の出場する種目のルールを熟知していること。

1-4 競技者は、自分の安全を確保するため十分練習を積まなければならない。

2 チーム構成

2-1 チームは、地域クラブや学校クラブなど、同じ団体に所属している選手により構成されていなければならない。

2-2 チームは、代表者として1名選出すること。代表者は18歳以上で、競技会に関わる規則や規定を理解し責任を持てる者とする。

3 出場登録

3-1 競技者は、個人種目、チーム種目にかかわらず あらかじめ所定の申込用紙（データ）を用い登録をしなければならない。なお、登録後の出場種目の変更および未登録種目への出場はできない。

3-2 出場登録は各個人でおこなうこと。

3-3 競技者個人の技術や体力などを充分考慮してエントリーすること。

4 ユニフォームおよび競技中の衣類

4-1 式典や表彰式および競技に適したユニフォーム（なければ ジャージ等）、水着、キャップを持たなければならない。

4-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる選手も競技に参加することができない。

4-3 キャップは、チーム全員が同様の色とパターンのキャップでなければならない。スタートの後に、キャップが取れたり、失ったりした場合、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。

4-4 キャップは、競技会申込締切日までに、JLAより承認されているもの、または、申込締切日までに実行委員会に届け出たものとする。

4-5 チームユニフォーム、水着、キャップなどに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。

5 参加費

5-1 参加費は、参加申込締切日までに支払わなければならない。

5-2 参加申込締め切り後の出場登録の取り消し、天候その他の理由により、競技会のタイムスケジュール変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。

5-3 競技者が欠場、あるいは失格となった場合でも参加費は返還されない。

6 表彰

競技種目の上位1位から8位を入賞とする。また、1位から3位は表彰式で表彰する。

7 競技器材

- 7-1 競技で使用する器材はライフセービング競技規則「競技器材」の基準を満たさなければならない。ただし、本競技会使用するフィンにあっては、安全を考慮しジュニアについては、ゴムフィンのみとする。ユースについては、カーボンファイバー/グラスファイバー素材などの硬いフィンでもよい。
- 7-2 プール競技で使用するレスキューチューブ、マネキン、障害物は、主催団体が用意する。
- 7-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか、または失格となる。
- 7-4 ラインスローにおいて、クロスバーとして障害物スイム等の障害物を用いる場合がある。
- 7-5 ジュニアチューブスイムで使用するレスキューチューブは、ライフセービング競技規則で定められているレスキューチューブではなく、ジュニアレスキューチューブを使用する。

8 競技規則

本競技会はJLA競技規則2022年版(2022. 07. 01)及び下記の事項に則り実施する。但し、下記の事項が競技規則2022年版よりも優先される。

- 8-1 本競技会は、代表者会議開始時刻に開始し、最終競技種目の終了から20分後に終了するものとする。ただし、抗議、上訴または規律審査に属する問題がある場合、最終解決まで競技会は継続する。
- 8-2 全ての競技種目においてタイム決勝とする。
- 8-3 ハンドラーは競技者と共に指定された時刻までにマーシャルに集合し、オフィシャルの指示により整列すること。ただし、小学生以下はハンドラーとして出場することができない。
- 8-4 泳力等の不足や傷病等により競技の続行が危険と判断した場合は、対象競技者の競技を中断することがある。
- 8-5 本競技会において、フィニッシュジャッジは置かないものとする。
- 8-6 障害物リレー(4×50m)(小学生3~6年)、レスキューチューブリレー(4×50m)にあっては指定された学年とともに男女混合チームおよび男女別のチームを編成してもよい。ただし、同じ競技者が複数のチームから同一種目に出場することはできない。

9 その他

- 9-1 大会中に大会主催者および大会主催者が認めた者が撮影した写真、映像を本大会の広報およびライフセービングの広報の目的で使用することがある。
- 9-2 大会中に大会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。
- 9-3 大会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、大会への参加や記録が取り消されることがある。

(以上)



スポーツは育てることができる。